



座長

熊本大学大学院生命科学研究部

山本美智子先生

アッヴィ合同会社

青木文代先生



リスクコミュニケーションの変革と今後の展望



2021/10/30(Sat.)

Graphic recording



Kanna Yoshikawa



グラフィックレコーディング 吉川観奈

リスクコミュニケーションの現状とこれから



山本美智子先生

課題点



USER TEST
評価・検証 (Evaluation/Verification)

検証した
どんな差がでたか? (Verified, what difference was there?)

ちゃんと理解しました (Understood it properly)
患者 (Patient)
資料の内容 (Content of the material)
9割以上分かる? (Understand 90% or more?)

OUTCOME 評価 (Outcome Evaluation)

課題点 (Issues)
情報資料 (Information material)
基準がないから... (No standards...)
Communication Index 指標がない!! (No Communication Index indicators!!)

製薬側が基準を作る (Pharmaceutical side creates standards)
ex. CDC CCI (ex. CDC CCI)

分かる!! 小学6年生 (Understand!! 6th grade elementary school)

Risk Communication
がうまくいったか科学的に check (Check if risk communication went well scientifically)



Graphic recording



Kanna Yoshikawa

グラフィックレコーディング 吉川観奈 (Graphic recording Kanna Yoshikawa)



薬局薬剤師が持つべきリスクコミュニケーション

今までの
リスクコミュニケーション
の在り方

・薬が増える理由
・薬浪りまじりか
担当しない
・調子が良いと同じ処方



ファルメディコ株式会社
狭間研至先生



患者さんの
COACH
これから

Pharmacist

確認!

適正使用

接点が増えた!

出した薬をその後も

Follow +
Assessment

Feedback

FAFを行わせる体制作り



薬の乱用
患者の環境も
Changed

薬局来られない?
『こちらから行きます』
医者に行けない?
Self medication



Feedback
します!



薬局開設者へは



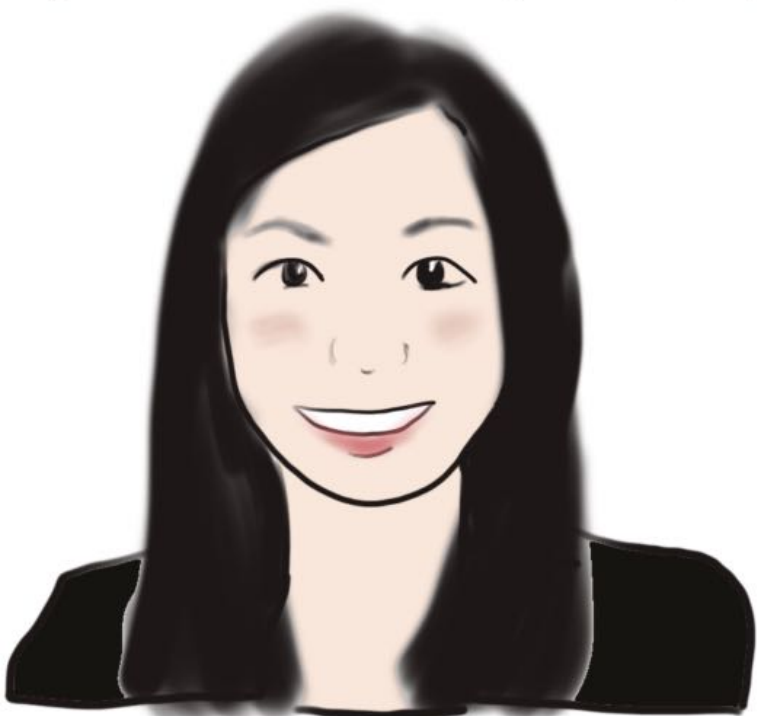
Graphic recording



Kanna Yoshikawa

グラフィックレコーディング 吉川観奈

グローバルの観点から、将来の患者向製品情報について考える



ファイザーR&D合同会社インターナショナル
ラベリングアジアパシフィック
松井理恵先生

ラベリングには2種類ある



患者向医薬品
ガイドは
選択された
製品のみ



欧州



未来のラベリング

市販後の
ラベリング
どう使われるか?



思考の
Shift

Patient Centricity

アドヒアランス
↑



情報と理解を
分かりやすく
アクセスしやすい
ラベリング



マルチ、
チャネルを
活かして

考える

日本以外の
取り組み
会社HP
会社の
Covid-19
関連サイトに
Jump!
Scan!
QRコード



患者用
添文

Graphic recording



Kanna Yoshikawa

グラフィックレコーディング 吉川観奈



医薬品のリスクコミュニケーションについての行政の仕組み



患者参画

ガイドンスを踏まえ、

よ！

取り組みを目指したい



独立行政法人医薬品医療機器総合機構
松永雄亮先生

目標達成のアプローチの例

Credibility (信頼)
Awareness (リスクに気付く)
Understanding (理解を深める)
Saluation (対応行動を理解)
Enactment (実行 やってみよう!)

★ Pmda の取り組み



情報
こんなとこあったんだ~

マニュアル使い方がわかる!!

知らなかったな

課
是
真

患者参画 WG



2011年~
意識・行動
変容の為



How about
EMA 公衆の信頼性
Safety communication の在り方



Graphic recording



Kanna Yoshikawa

グラフィックレコーディング 吉川観奈

Risk Communication は、人々が小情報に基づく判断をするために行う

